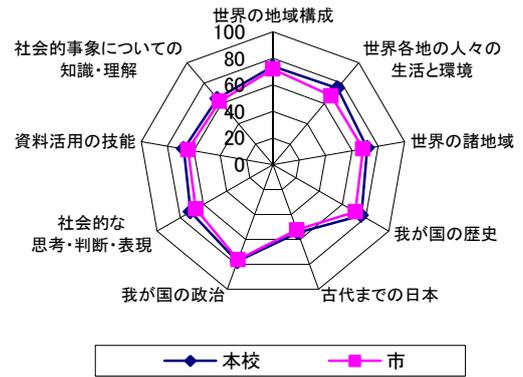


宇都宮市立豊郷中学校 第1学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の地域構成	73.9	71.9
	世界各地の人々の生活と環境	75.1	67.7
	世界の諸地域	71.7	68.4
	我が国の歴史	76.4	71.2
	古代までの日本	54.6	52.3
	我が国の政治	77.7	76.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.1	66.5
	資料活用の技能	67.7	64.3
	社会的事象についての知識・理解	64.9	62.1



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の地域構成	平均正答率は73.9%で市の平均を2.0ポイント上回っている。大陸や海洋の分布に関する理解は進んでいるが、緯度や経度の読み取り問題については正答率が下がる。	地図やグラフなどの資料を読み取る問題を、授業の中で多く取り入れることで、資料活用の技能を育成するよう努めたい。また、情報機器を活用することで地理的分野への興味関心を高めるとともに、地理ノートなどのワークショップを活用するなどして、自主学習能力を高めたい。
	世界各地の人々の生活と環境	平均正答率は75.1%で市の平均を7.4ポイント上回っている。世界各地の人々の伝統的な住居について資料から読み取る問題は正答率が高いが、世界各地の人々の生活をもとに思考力を試される問題については正答率が下がる。	
	世界の諸地域	平均正答率は71.7%で市の平均を3.3ポイント上回っている。季節風がもたらす気候の変化への理解は進んでいるが、中国の人口変化に関するグラフの読み取り問題は市や全国平均を下回った。	
歴史	我が国の歴史	小学6年生の歴史学習の最後に位置する領域であったが、本校の正答率は76.4%で市の正答率を約5ポイント上回った。太平洋戦争や東京オリンピックまでの社会の変化について概ね理解できている。	社会的事象についての知識理解を見る問題の正答率が低くなる傾向がある。歴史的な事象や語句の暗記で学習を終えることのないように、時代背景にも視点を置き、「なぜそうなったのか」と考えることで理解を深めさせるようにしたい。また、戦後の現代史の部分は、歴史的分野及び公民的分野でも一部扱う内容となっており、社会的にも注目されている領域でもある。3学年では今回の結果を踏まえ、他の時代に比べ理解が低い点を留意して扱うようにしたい。
	古代までの日本	本校の正答率は54.6%であり他の領域に比べて低い数値であった。特に年表を読み取る問題の正答率が低く、それぞれの時代に起きた出来事を理解できていないようだ。	
公民	我が国の政治	日本国憲法における国民の義務については正答率が8割以上の高い数値を示している。一方で、日本国憲法の三大原則については全国平均を約3ポイント下回っている。	最近の世界情勢や社会の様子などのニュースや新聞等を学習内容に関連させることで興味関心を持たせたい。小学校で学習してきたことを、3学年で学習する公民的分野につなげられるよう工夫したい。